

緑と花と太陽のあふれるまちづくりに貢献

平成21年に甲府市内の造園業者により設立された協同組合甲府市造園協会(清水文一理事長組合員18社)は、任意団体の時代を含め、半世紀以上にわたり甲府市の緑化・美化の活動に協力してきた。今年で24回目となった甲府市緑化まつりは、4月17日(日)に甲府市・緑が丘スポーツ公園で開催され、組合員全社が出店した。

まつりは、吹奏楽の演奏やサッカーのリフティング大会、フラワー教室などのイベントや特産品の飲食ブースなど盛りだくさんの内容で家族連れなど約1万人の来場者でにぎわった。その中で、組合では各社が植木や花木の販売を行い、造園・樹木に関する相談コーナーも設けた。また、恒例となっている緑化推進のための苗木の無料配布では、スイカズラ科の半常緑低木「アベリアコンフェッティ」200株が組合より来場者に配布された。

組合は、緑化管理業務の共同受注事業や業界PRのための共同宣伝事業、先進地視察研修や組合員の経営に関する研修会などの教育研修事業を行っている。近年では、ボランティア活動で市内の公園の樹木調査なども行い、甲府市の公園緑化管理に役立っている。

清水理事長は、「緑化まつりへの参画を含め、甲府市との良好な協調関係が築けている。組合の受注も市役所各部署の理解も得て、少額ではあるが件数を伸ばしており、組合員の受注にもつながってい



盛り上がりを見せた「第24回甲府市緑化まつり」

る。今後も甲府市と一層の連携協力を図りながら、市の緑化行政への貢献と組合員の経営・技術の向上に努めていく。」と語った。